

地域高規格道路

くまもと し おおづまち

中九州横断道路(熊本市～大津町)

第3回 説明資料(別冊)

【第2回意見聴取結果】

平成27年 9月15日

国土交通省 九州地方整備局

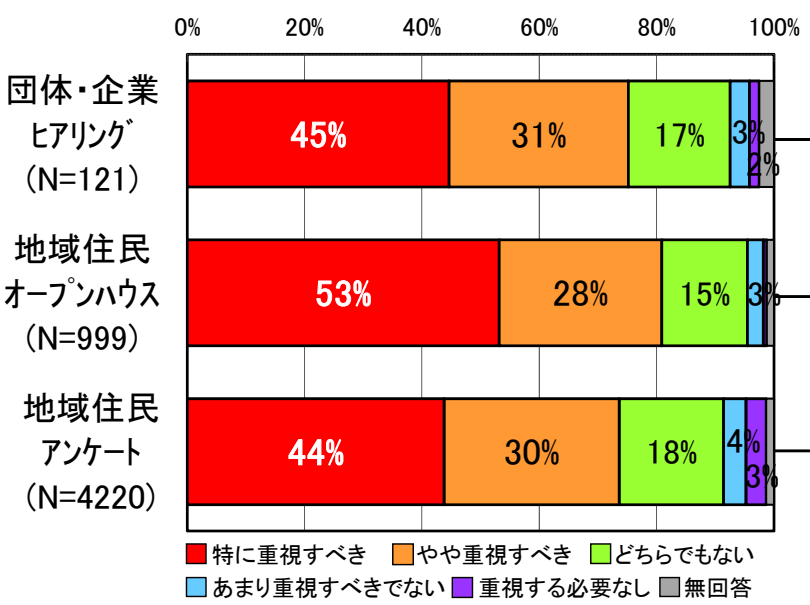
第2回意見聴取結果

(1)ルート帯案に関すること

意見聴取の結果 (1) ルート帯案に関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【①熊本市～大分市間を早く、スムーズに行けること】

- いずれの意見聴取方法においても、7割以上が重視すべき(“特に重視すべき”“やや重視すべき”)という傾向にあり、特に地域住民(オープンハウス)において高い。
- 自由意見では、大分方面への不便さの解消を望む声が多く、四国も視野に入れた交流向上が期待されている。
- 自治体意見においても、速達性・安全性の高い高速ネットワークが必要とされている。



- 大分市から熊本市へのガソリン陸送はますます増加傾向にあり、所要時間が短縮されれば、輸送形態の効率化が図られるため専道の整備を望む。(大分市)
- 4月から6月は四国方面へのスイカの搬送が多く、特に5月の連休は行楽客に阻まれ、フェリー時刻に間に合わないこともあり、苦勞している。間に合わなかったら営業停止になることから、大野～大分のような道路が早く開通して欲しい。(熊本市)
- 週3日ペースで大分との輸送があるため、ドライバーの負担軽減に繋がる。(菊池市)
- 熊本経由で九州各地にトマトを出荷しているが、出荷にあたっての時間短縮の重要性は更に増している。時間短縮が大きく、走行性も高く荷痛みの少ない自動車専用道路の整備を望む。(大分県竹田市)
- 大分には部品を外注し、毎日トラック便で運送しているが、雪の影響や休日の渋滞など時間に関する信頼性に難がある。(大津町)

- 大分への用事で時間が掛かりすぎるのが、いつも悩みです。(熊本市)
- 不便な大分への道路網がいち早く改善され、交通の便がより一層快適になることを期待しています。(大津町)
- 熊本と大分を高速で結ぶ必要はないのではないか。大分の人も福岡と結ばれていれば十分なのではないか。(熊本市)

- 私用で大分へ行くことがありますが、帰りは阿蘇付近の渋滞で長時間かかります(特に日曜)。(合志市)
- 単に熊本～大分が近くなる事だけではなく、今までと比べて四国との交流も、活発になる事と思います。(菊陽町)
- 大分市とのスムーズな交通が、熊本の経済や産業にどの程度プラスになるのか全く理解できません。(熊本市)

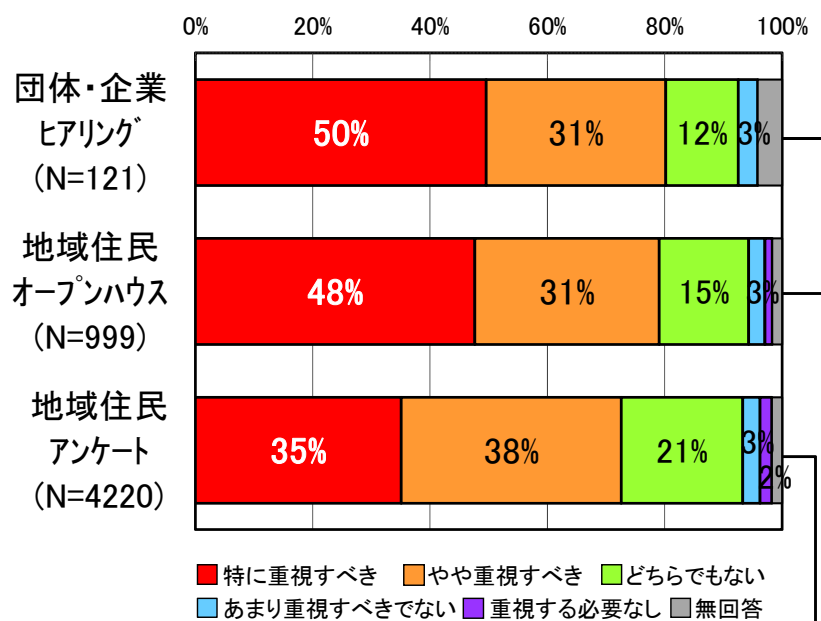
【自治体意見】
 ・熊本市～大分市間は県庁所在地であるにも関わらず、主要幹線道路は国道57号のみであり、高速交通ネットワークが未整備であるため、速達性、安全性の高い道路が必要である。(熊本県)

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし ■ 無回答

意見聴取の結果 (1) ルート帯案に関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【②産業拠点と高速ICを結び搬送先に早く行けること】

- いずれの意見聴取方法においても、7割以上が重視すべきという傾向にあり、特に団体・企業において高い。
- 自由意見では、工業製品や畜産関連の輸送効率化や工業団地のアクセス条件に伴う、新たな企業誘致等を期待する声が多く、既存の施設配置等から北ルートが望ましいとされる意見が多く寄せられた。
- 自治体意見においても、工業製品等の広域輸送環境の向上が期待されている。



- 地場企業が生き延びるために、道路に求めるものとして、合志・大津町を中心とした工業団地群を経由することこそが大事と考える。(熊本市)
- 精密機器輸送のため、できる限り振動を与えないように、安定走行可能な高速道路を利用しているが、熊本IC、植木ICへのアクセスの悪さが課題である。(合志市)
- 精密機械の高価な部品は時間的制約がある輸送を求められる場合が多いが(輸送が遅れると生産ラインを止めてしまう)、振動に弱く壊れやすいため、迅速かつ安全な輸送が求められる。(大津町)
- 北ルート案沿線に畜産関係の施設が比較的集中しているため、畜産関連の視点では北ルートがよい。(熊本市)

- 北ルートであれば、産業の面でプラスだと思う。搬送に利便性があれば今以上の企業誘致も期待できる。(合志市)
- 工業団地にアクセスする大型車などが利用しやすい道路が必要。(菊陽町)
- 工業団地の配置を考えると北ルートが最適だと思います。(菊池市)

- 物流の面から考えれば工業団地が数多く点在する案①のルートが断然利便性、重要性がある。(合志市)
- 人口減少の大きな要因の一つである働く場を確保するためには、企業進出に魅力的な場所である事が大切であり、どこに道路を通すかがポイントである。(菊陽町)
- 地域の産業振興と住民の生活の利便性の向上に寄与することが重要。(大津町)
- 産業拠点よりも57号線を早く整備する方が重要と思う。(熊本市)
- 工業団地等との連絡による産業活性化や主要観光施設等との連絡による観光振興は、別の手段で代替可能である(合志市)

【自治体意見】

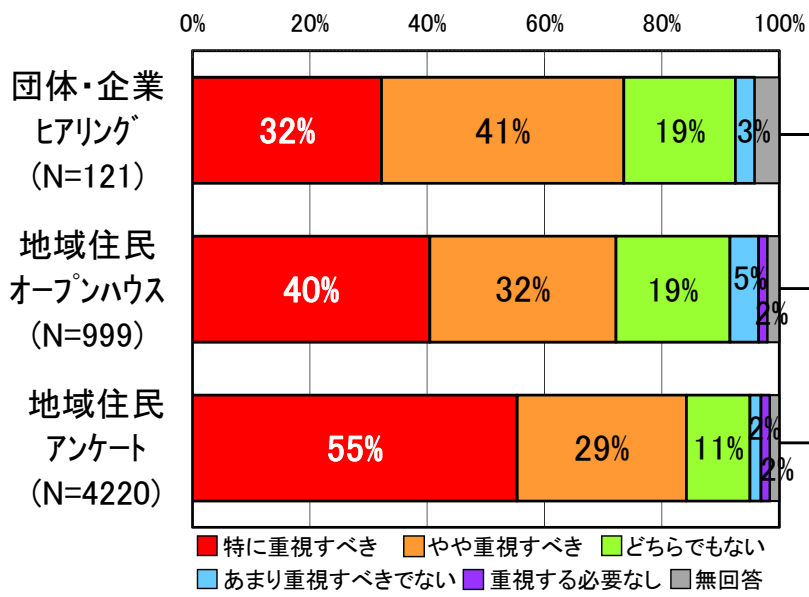
- ・現状では、製造品・農畜産品等の生産拠点からの輸送に時間がかかり、企業進出や取引価格等に影響があるため、生産拠点と高速ICは近い方がよい。(熊本県)
- ・工業や農業が盛んな地域であり、多くの工業製品や農畜産物は、九州縦貫道を利用し福岡方面や関西などに輸送されているため、九州縦貫道との連続性が急務。(大津町)

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし ■ 無回答

意見聴取の結果 (1)ルート帯案に関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【③患者に負担なく、救急病院に早く行けること】

- いずれの意見聴取方法においても、7割以上が重視すべきという傾向にあり、特に地域住民(アンケート)において高い。
- 自由意見では、人命を重視し阿蘇地域への配慮や救急病院への速達性向上を望む声が多い一方で、道路整備よりもドクターヘリの活用を求める声も多く見られる。
- また、救急医療施設配置の見直しを求める声もある。



- 案①北ルートから西環状道路を通行すれば、済生会病院に短時間でいけるようになる。(菊池市)
- 重篤患者は三次救急医療施設へ搬送することが多いため、阿蘇～赤十字、大津～赤十字間の速達性確保(所要時間の短縮)は重要である。(大津町)
- 救急病院のある所に道路を整備するのではなく、便利な道路のある所に救急病院を設置していくのも施策であると考えられる。(合志市)
- 救急搬送は、渋滞する陸路は避け、ドクターヘリに乗り換えて日赤病院まで運んでいる。ドクターヘリをより活用できるように体制を整えるべきであり、自動車専用道路で結ぶ必要性は低い。(菊陽町)

- 特にルートのイメージはないが、医療や生活への配慮に注意してほしい。(熊本市)
- 産業面よりも、生命の方を重視した整備が望ましいと考えます。命はお金にかえられません。(菊陽町)
- ドクターヘリで対応できるので、北ルートが良い。(菊池市)

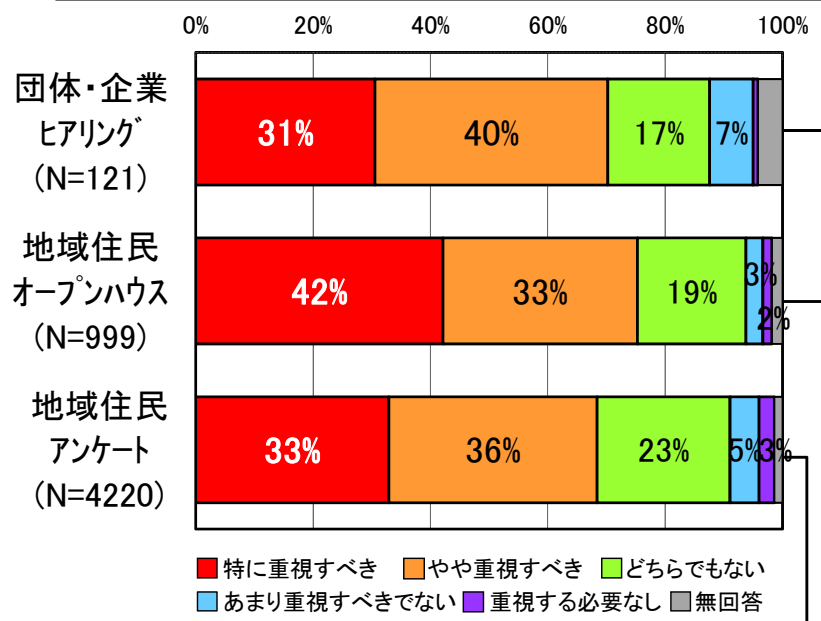
【自治体意見】
 ・今回の沿線地域は、熊本市内の三次救急医療施設に依存していることから、速達性の確保が課題である。(熊本県)

- 患者の救急搬送は命に関わることであるため、重視すべきと考える。(熊本市)
- 阿蘇方面からの急患搬送には長時間を要している。整備されれば救命率も高くなると思う。(菊池市)
- 救急搬送や生活・自然環境は他の項目に比べて生活するうえで重要だと思うので重視してほしい。(菊陽町)
- 救急医療はサイレンを鳴らして最優先で通れるのでどこでも変わらないと思います。(合志市)

意見聴取の結果 (1) ルート帯案に関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【④熊本駅と観光地を結び、目的地に早く行けること】

- いずれの意見聴取方法においても、7割程度が重視すべきとやや低い傾向にある。
- 自由意見では、新幹線開通効果を活かすために熊本駅から全国有数の観光地である阿蘇等の観光地へのアクセス強化を求める声が、企業・団体も含めて多く寄せられた。
- 自治体意見においては、菊池・山鹿地域と阿蘇が繋がる事の意義が大きいとの意見がある。



- 新幹線利用の観光客の阿蘇方面へのタクシー利用は現在でも多い(時間単位の貸切利用)。移動時間が短縮されれば、観光地での滞在時間や限られた時間内で回れる場所が増える。(熊本市)
- 福岡からの観光客から「福岡から熊本まで新幹線で30分なのに、熊本駅から菊池まで1.5時間も掛かるのは大変」との不満を聞く。リピーター確保には熊本駅へのアクセス強化が必要。(菊池市)
- 熊本駅から阿蘇方面のアクセスが悪い。都市高のようなものがあればよいのでは。(合志市)
- 熊本駅及び熊本空港との連携については現状のままで良い。熊本駅と観光地をつなぐ道路というイメージはピンと来ない。(合志市)

- 新幹線も開通し、観光客が増えつつある中で、このチャンスを活かさない手はない。阿蘇という世界的な資産を活かし更なる地域の発展に繋がるよう整備を進めて欲しい。ルートは北ルートが総合的に考えて良い。(熊本市)
- 新幹線利用と一体的な観光ルートとして考えれば北ルートが良いと思う。(菊陽町)
- 福岡から阿蘇へのアクセスは案①が最も良い。西環状道路が開通後の新港から阿蘇、長崎から阿蘇への観光ルートへの時間短縮が図られる。(合志市)

- 熊本駅から市街地を通らずに阿蘇市等へ行ける観光地へのアクセスを考える必要あり。駅→西回りバイパス→北ルートは良いと思います。(合志市)
- 暮らしている人の生活の向上が第一で、観光のことはこの次で良い(菊池市)
- 駅や空港利用者は公共交通機関を使うべき。熊本だからこそその風景や山を見てもらうなら、スムーズな道より多少不便な道でも構わないと思う。(合志市)

【自治体意見】

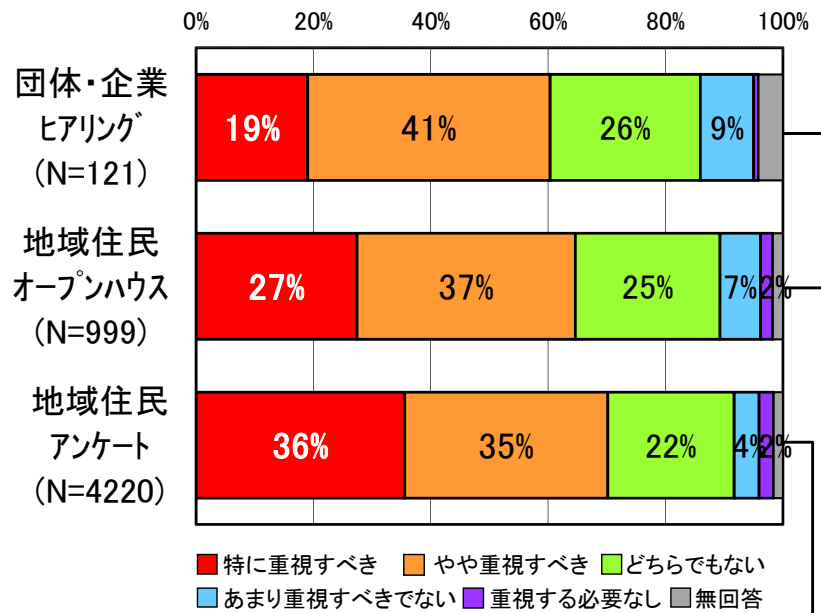
- ・「熊本駅」から熊本を代表する観光地「阿蘇」へのアクセスが悪いことが課題であり、阿蘇方面への速達性、定時性が確保されれば、観光客の取り込みや滞在時間の延長等による観光振興が期待される。(熊本県)
- ・菊池・山鹿地域の貴重な観光資源が阿蘇と繋がる点も、極めて意義が大きい。(菊池市)

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし ■ 無回答

意見聴取の結果 (1) ルート帯案に関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【⑤熊本空港と観光地を結び、目的地に早く行けること】

- いずれの意見聴取方法においても、6～7割が重視すべきとやや低い傾向にあり、特に企業・団体で低い。
- 自由意見では、熊本空港のアクセス性向上が必要との声が多く寄せられたが、一方で、沿線地域が観光客に通過されることへの懸念もみられる。
- また、熊本空港からは、阿蘇・菊池方面よりも熊本城等の熊本市街地とのアクセスが課題との意見もある。



- 熊本県には素晴らしい観光素材が多くあるが、広域に点在している。他県からの観光客が利用する熊本駅や熊本空港などの交通結節点や高速道路と観光地を結ぶ道路が出来るのは大歓迎。(熊本市)
- 菊池からの空港利用を考えると、国道325号の整備が進んでおり、空港アクセスは十分と考えている。(菊池市)
- 熊本空港から阿蘇方面への移動については、現状で困っているとの認識はない。(熊本市)

- 駅や空港から観光地のアクセスの効率を高めてほしい。(菊池市)
- 熊本の観光発展のため、空港からのアクセス性が重要と思います。(菊陽町)
- 空港付近を中心に観光を発展させなければならない。これからの産業は沖縄県を見習って観光を中心にして行くべき。(大津町)
- 阿蘇へのアクセスに渋滞がひどいため、県外客もリピーターになってもらえないのではないかと？ 空港からの観光客は少ないように思う。(熊本市)

- 熊本空港との結節強化により、観光客の誘致拡大及び九州各地からの熊本空港利用客増加を図り、熊本空港を九州における拠点空港化し、福岡空港の混雑緩和を目指す。(熊本市)
- 熊本県は観光地との利便性をよくする事が重要であると考えます。阿蘇は良いところだが熊本駅からは遠く、熊本城もいいが空港からは遠い。(菊池市)
- 観光面からみると、便利な反面、単に熊本は通過都市になる可能性もある。(合志市)
- 駅や空港利用者は公共交通機関を使うべき。熊本だからこそその風景や山を見てもらうなら、スムーズな道より多少不便な道でも構わないと思う。(合志市)

【自治体意見】

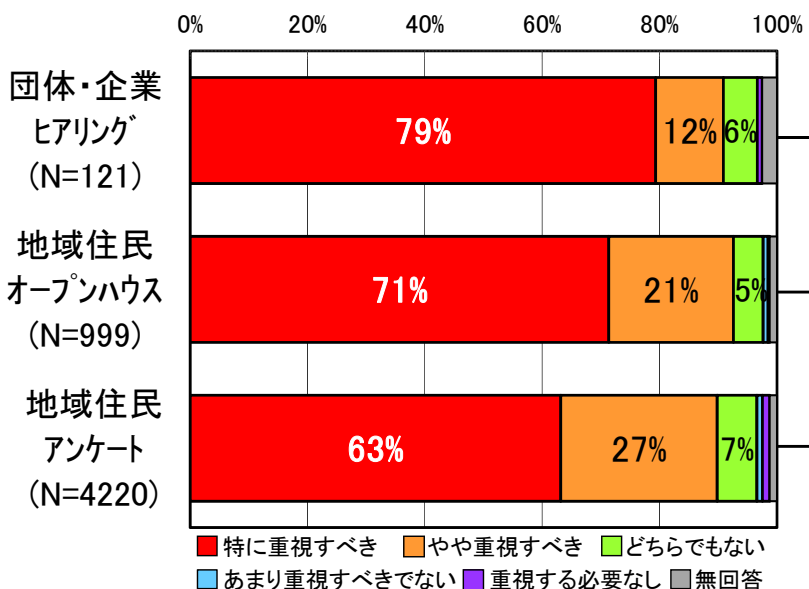
- ・「阿蘇熊本空港」と「阿蘇」を結ぶ国道57号は、慢性的に混雑しているが、現在取組まれている4車線化工事により、段階的に改善が図られている。(熊本県)
- ・阿蘇地域や菊池市にも多くの温泉旅館などがあり、県外からのゴルフ場利用客が多いことから、早期の整備を期待する。(大津町)

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし ■ 無回答

意見聴取の結果 (1) ルート帯案に関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【⑥渋滞が少なく、スムーズに移動できること】

- いずれの意見聴取方法においても、9割以上が重視すべきという非常に高い傾向にある。
- 自由意見では、現状の国道57号に関する熊本市内の渋滞状況を問題視する声や、別ルート整備による生活交通や産業交通、観光交通等の分離による渋滞緩和への期待する声が多く、交通事故減少効果に期待する声もある。
- 自治体意見においても、渋滞解消による環境改善を求める意見が多い。



- 国道57号熊本東バイパスの渋滞は、生活交通と産業交通の混在が原因だと考えており、別線整備によりこれらの交通を分離できれば、渋滞は緩和されるのではないかと。(熊本市)
- 国道57号の現道改良だけでは交通渋滞が緩和されるとは思えない。(合志市)
- 熊本市からの通勤者は、市内の渋滞が緩和すれば、家を出る時間を今より遅くできるようになるため、通勤の負担がかなり軽減されると思う。(菊池市)
- 福岡方面に行く際は混雑する国道57号は避け、植木ICを利用しているが、幅員が狭く通りにくい事に加えて朝夕の渋滞が生じている。(大津町)
- 高規格道路が整備されれば他に交通量が分散されるので、渋滞が減り救急搬送も走りやすくなると考えられる。(菊陽町)

- 熊本市が九州の中央に位置するメリットを生かせるためにも早く整備してほしい。熊本市内の渋滞解消のため、通過交通が減るようなルートを望む。(熊本市)
- 熊本都市圏北部の市の道路整備が遅れており渋滞が著しいので北ルートで整備すべき。(合志市)
- 熊本IC周辺はよく渋滞しているのでどうにかしてほしい。(菊陽町)

- 渋滞がなくなれば、交通事故も少なくなると思います。(熊本市)
- 国道57号の慢性的な渋滞は、地元住民や観光客に多大な損失を負わせているので早期に改善が必要。(菊池市)
- 国道57号線は朝夕のラッシュ時、観光シーズン等、渋滞が多く、別ルートを作る必要を感じる。(大津町)

【自治体意見】

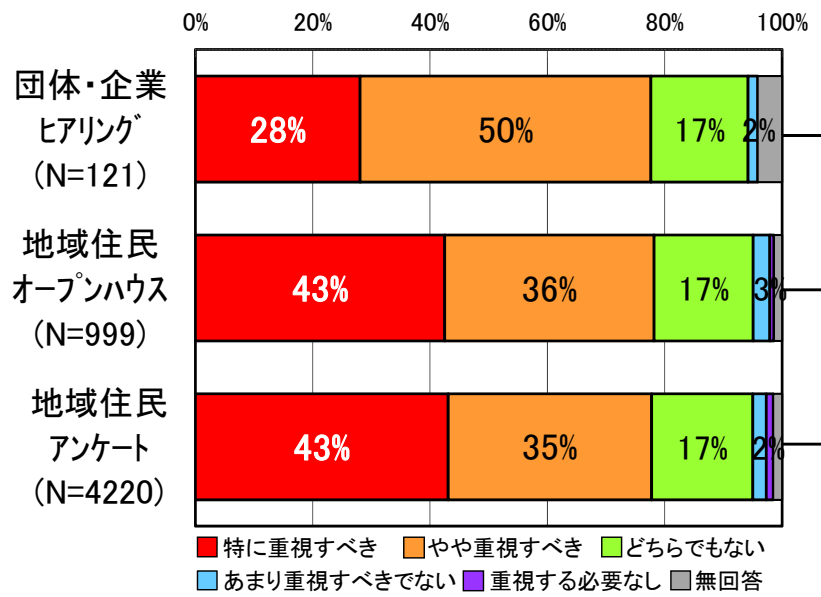
- ・阿蘇・大津方面から熊本市への国道57号が慢性的に混雑していることから、通勤者や物流関係の負担が大きいため、渋滞解消を図る必要性は高い。(熊本県)
- ・人口や商業施設が急増している光の森団地では、通勤や集客により道路混雑が激しい。(合志市)
- ・国道57号線に近接しすぎたルート案では更なる集中を助長し根本的解決に繋がらない恐れがある。(菊池市)

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし ■ 無回答

意見聴取の結果 (1) ルート帯案に関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【⑦生活環境(騒音など)への影響が少ないこと】

- いずれの意見聴取方法においても、8割近くが重視すべきという傾向にあり、地域住民が特に重視している。
- 自由意見では、騒音・振動・排気ガス等による生活環境への影響を避ける事が求められているほか、安全性向上の視点から、自動車専用道路を求める声もある。
- 自治体意見においては、現道改良案に対する工事期間中の生活環境悪化を懸念する意見もある。



- 沿線住民に騒音・振動等の迷惑を掛けないために高速道路を使用している。製品輸送の効率化だけでなく環境面からも、自動車専用道路で当社からのアクセスに優れる案①(北ルート)が望ましい。(合志市)
- 生活に悪影響が少ない道路整備が必要。(菊池市)
- 安全面が問題。特に現状での一般道路における歩行者との事故がもっとも懸念されている。(熊本市)

- 高速道路が整備されることによって排気ガス、騒音問題が気になるので対策してほしい。(合志市)
- 交通事故等をできるだけ少なくすること、これは必須条件である。得てして、道路の開通により生活環境が破壊されることが多々あるので特に肝要である。(合志市)
- 産業を活性化させ住環境を守るやり方をお願いしたい。(菊池市)
- 子供たちの安全の為に自動車専用道路がよい。生活道路に大型車が入ってきて危ない。(大津町)

- 生活環境への影響がなく、最善の効果が出るルートでの道路建設を望みます。(菊池市)
- 周辺に居住する人々の生活が守られる事が大切。こういった工事、道路の完成によって生活環境が変わることは容認できない。(菊陽町)
- 自動車専用道路が出来た場合に付近の住民への騒音対策、暴走族への対応が必要。(熊本市)

【自治体意見】

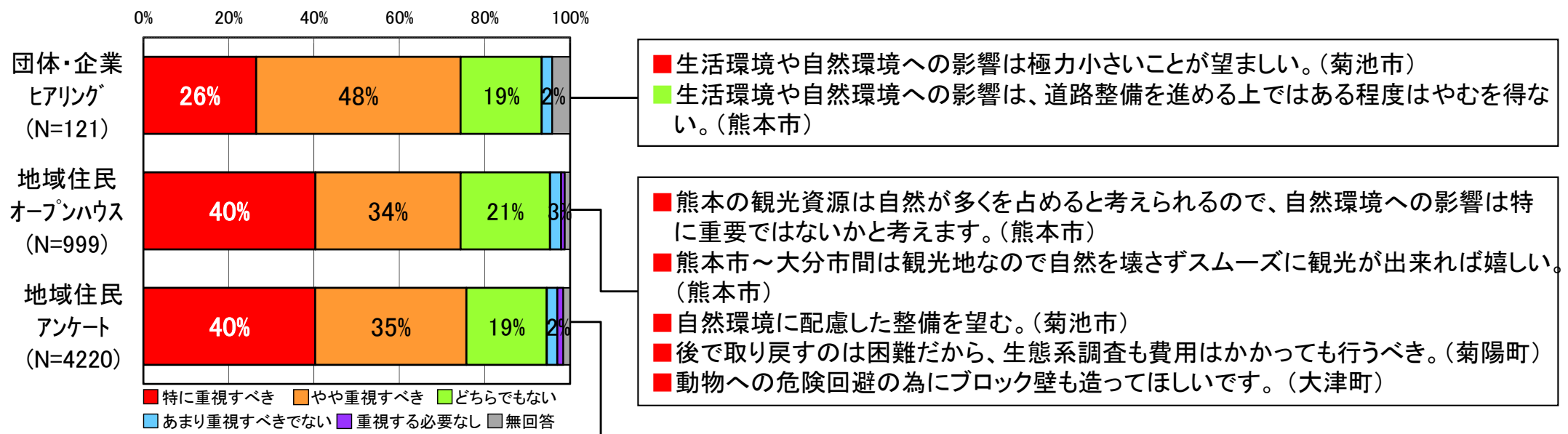
- ・国道57号は慢性的な混雑により周辺の生活道路への車両流入があり、騒音や振動などによる生活環境や歩行者の安全性が損なわれているため、これらを解消する必要性は高い。(熊本県)
- ・国道57号改良案は、沿線に店舗等の張り付きが著しく、工事期間中及び工事完成後の騒音振動等による生活環境の悪化などデメリットが大きい。(菊陽町)

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし ■ 無回答

意見聴取の結果 (1)ルート帯案に関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【⑧自然環境(動植物など)への影響が少ないこと】

- いずれの意見聴取方法においても、7割以上が重視すべきという傾向にあり、地域住民が特に重視している。
- 自由意見では、生態系保護の観点から自然環境への配慮を望む声がある中、観光資源としての有意性を考慮して自然環境の保全を望む声も多い。
- 自治体意見においては、鳥獣保護区域等への配慮を求める意見もある。



■ 生活環境や自然環境への影響は極力小さいことが望ましい。(菊池市)
 ■ 生活環境や自然環境への影響は、道路整備を進める上ではある程度はやむを得ない。(熊本市)

■ 熊本の観光資源は自然が多くを占めると考えられるので、自然環境への影響は特に重要ではないかと考えます。(熊本市)
 ■ 熊本市～大分市間は観光地なので自然を壊さずスムーズに観光が出来れば嬉しい。(熊本市)
 ■ 自然環境に配慮した整備を望む。(菊池市)
 ■ 後で取り戻すのは困難だから、生態系調査も費用はかかっても行うべき。(菊陽町)
 ■ 動物への危険回避の為にブロック壁も造ってほしいです。(大津町)

■ 自然環境破壊を少なくし、災害に強い整備としてほしい。(合志市)
 ■ 利便性や快適さを追求するあまり、自然破壊・環境汚染があってはならない。(菊陽町)
 ■ 生活環境の悪化や自然破壊などは車社会がもたらす一番の弊害なので、それを最小に抑えたい。(大津町)
 ■ 自然環境も大切だが、人口減少で荒廃した地域は勝手に自然に還る。このままでは熊本市も勝手に自然に還ってしまうことでしょう。(熊本市)

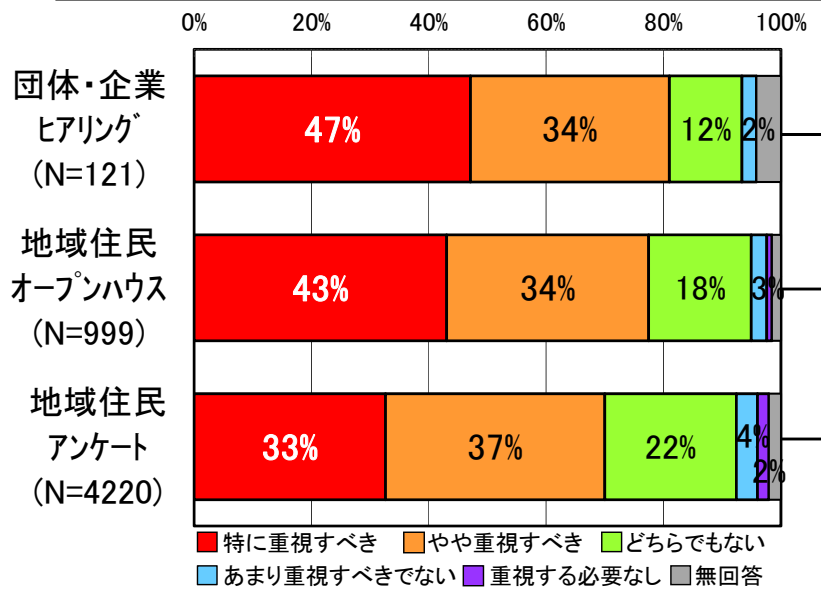
【自治体意見】
 ・示されたルート帯の中には鳥獣保護区域内を通るものがある。自然環境への影響が少ないことが望ましい。(熊本県)

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし ■ 無回答

意見聴取の結果 (1) ルート帯案に関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【⑨熊本都市圏のネットワークが形成されること】

■ いずれの意見聴取方法においても、7割以上が重視すべきという傾向にあり、特に団体・企業において高い。
 ■ 自由意見では、熊本西環状道路など他の路線と一体となって、整備効果が高めることを望む声や、地域活性化に期待する声が多く、北ルート案のメリットが大きいとの意見が多く寄せられた。
 ■ 自治体意見においても、熊本西環状道路とのネットワーク効果による熊本都市圏の渋滞緩和が期待されている。



■ 熊本県・都市圏全体での効果を考えるべきであり、熊本西環状道路とのネットワーク効果により案①北ルートが優れると考える。(熊本市)
 ■ 菊陽町から見ると、一見、南ルートの方が便利に見えるが、道路はネットワークとしての視点が大切であり、全体的な視点として九州縦貫道との接続や国道57号の渋滞緩和を考えると、北ルートがよい。(菊陽町)
 ■ 熊本西環状道路と一体的な利用ができることから、案①北ルートの整備が最も有効。(大津町)
 ■ 菊池のホテルとしては、熊本都市圏のネットワークよりも、山鹿・玉名・菊池の圏域の結びつきが強く、こちらのネットワークの方が重要と思う。(菊池市)

■ 北ルートは西環状道路に繋がり、熊本駅や熊本港に行きやすくなるという点でも良いと思う。(熊本市)
 ■ 断然北ルートが良い。西環状道路と一体となってネットワークが形成されることのメリットは大きい。熊本駅へのアクセスを考えても北ルートは良い。(菊陽町)
 ■ 熊本西環状道路と結び、工業団地が集中する北ルート沿線と熊本港をつなぐと熊本港の活性化、西合志、大津町の北部の発展につながる。(大津町)

【自治体意見】
 ・熊本都市圏の骨格を形成する道路に位置付けられていることから、自動車専用道路として早期に整備されることを望む。(熊本県)
 ・熊本西環状線の整備効果が高めるためにも、ルート帯案として「案①」北ルートをお願いしたい。(熊本市)
 ・北ルート案は、熊本西環状道路と接続予定であり、新たなネットワークの構築ができ、熊本都市圏の渋滞緩和の効果が大きいと考えられる。(合志市)

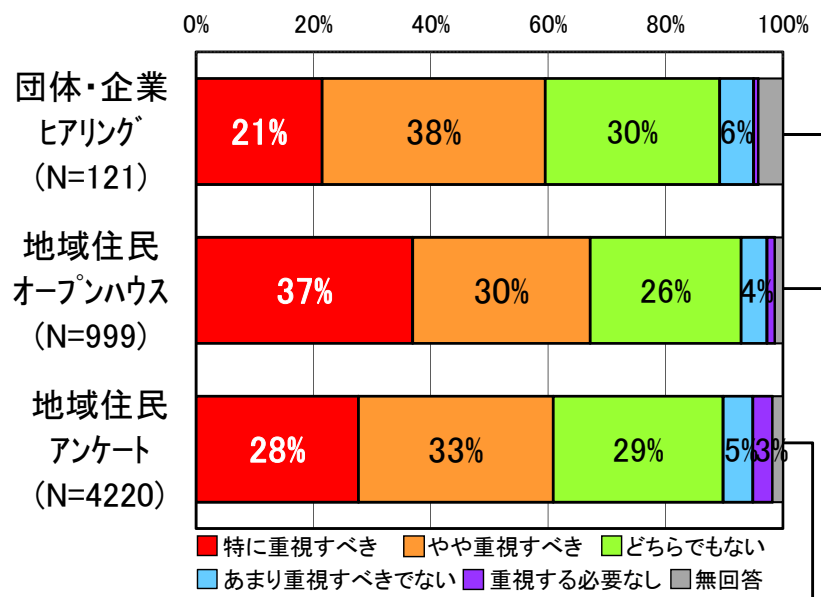
■ 熊本都市圏のネットワーク形成が本県の最重要課題と思われる。(合志市)
 ■ 熊本市内の渋滞対策として、環状道路の早期整備、併せて交通ネットワークの形成の一つとして、中九州横断道路の整備を着実に進めてもらいたい。(菊池市)
 ■ 交通の集中している国道57号東バイパスの別線として、熊本市西部方面(熊本駅含む)とのネットワーク強化と九州道との接続を図る道路が必要。(大津町)

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし ■ 無回答

意見聴取の結果 (1)ルート帯案に関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【⑩家屋移転が少ないこと】

- いずれの意見聴取方法においても、6割程度が重視すべきと低い傾向にある。
- 自由意見では、家屋移転を減らすべきとの声が多く、その理由として、家屋の移転は整備費用の増加や工事の遅れなど、結果として早期開通を阻害する可能性が高いという声(『現道改良案』への懸念)が多く寄せられた。
- 自治体意見においても、極力、家屋移転が少ないことが望ましいとの意見がある。



- 案③現道改良案は家屋移転が多いというデメリットがあるため、段階的な開通が早いことよりも、移転が少ないことを優先すべきではないか。(熊本市)
- 移転家屋等は工事の遅れに繋がることから、少ない方が良い。現在の家屋や商業施設等の立地が少ない案①北ルートの方が工事はスムーズに進むのではないだろうか。(菊池市)
- 家屋の移転は、整備費用の増加や工事の遅れに繋がるため、極力少ない方が良い。一刻も早い整備をお願いしたい。(阿蘇市)
- 現道改良案(3案)は、既に沿道に建物が張り付いている状況を考えると現実的ではないと思うし、ルート用地確保や障害物の少なさを考えても北ルート(1案)が妥当だと思う。(大津町)

- 案③は用地買収に時間がかかるのではないかと。そうすると供用が遅くなるのではないかと。(熊本市)
- 家屋移転が多いとその分住民への影響が多くなる為、問題が多く出てくることになると思う。(菊池市)
- 家屋移転は少ない方が良いに決まっている。(大津町)

- 家屋の移転等少なく、熊本の地下水への影響も最も少ない北ルートがよいと思います。(菊陽町)
- 北ルートの方が移転など少なくて良いと思う。(大津町)
- 用地買収等がスムーズにいくようスピード感をもって進めてほしい。(合志市)
- 家は区画整理になっても良いので、高速を作ってほしい。(大津町)

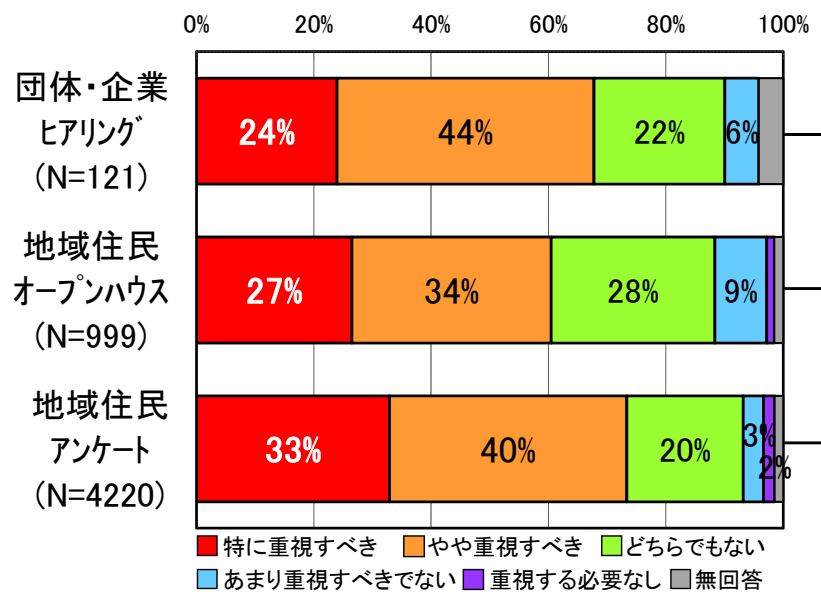
【自治体意見】
 ・家屋移転は不測の時間を要すること、また、地域の分断を生じる恐れがあることから、極力、家屋移転が少ないことが望ましい。
 (熊本県)

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし ■ 無回答

意見聴取の結果 (1)ルート帯案に関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【⑪沿道からの利用が便利なこと】

- いずれの意見聴取方法においても、6～7割程度が重視すべきとやや低い傾向にある。
- 自由意見は比較的少ない傾向にあったが、寄せられた意見は現道改良案による現道からの利便性を望む声が多かった一方で、交通集中による渋滞懸念の声もある。
- 自治体意見においては、速達性・安全性の面から、沿道から利用できない別線構造を求める意見が多い。



■ R57の混雑等の問題は認識しているが、企業(小売業)活動上、R57の交通量が減ることは望ましくない為、現道改良案を望む。(菊陽町)

■ 現道改良案が利便性の面で弊社にとってはよい。(菊陽町)

■ 現道を改良しても国道57号に交通が集中するだけで、渋滞の緩和にはならないのではないか。(熊本市)

■ ルート案としては、北ルートが望ましいと思いますが、専用道路とすると沿道との接続が悪いので、別線のバイパス道路とし、要所々の沿線道路に接続出来るようにしていただければと思います。(合志市)

■ 現道改良案が良い。今ある道路を良くするので分かりやすい。(菊陽町)

■ 自動車道ができることにより旧道、57号線沿線を生活の糧としている人たちの対処は？九州自動車道の開通により国道3号沿いのレストラン等が閉鎖された例もあり、便利＝幸福だけではないと思う。(熊本市)

■ この区間は、自転車、歩道も併用した道路建設であってほしい、一般道からの利用を望む。(熊本市)

■ 沿道から近い所に大きな道を作ってほしい。(合志市)

■ どこからでもアクセスできるのが良い現道改良案を支持します。(菊陽町)

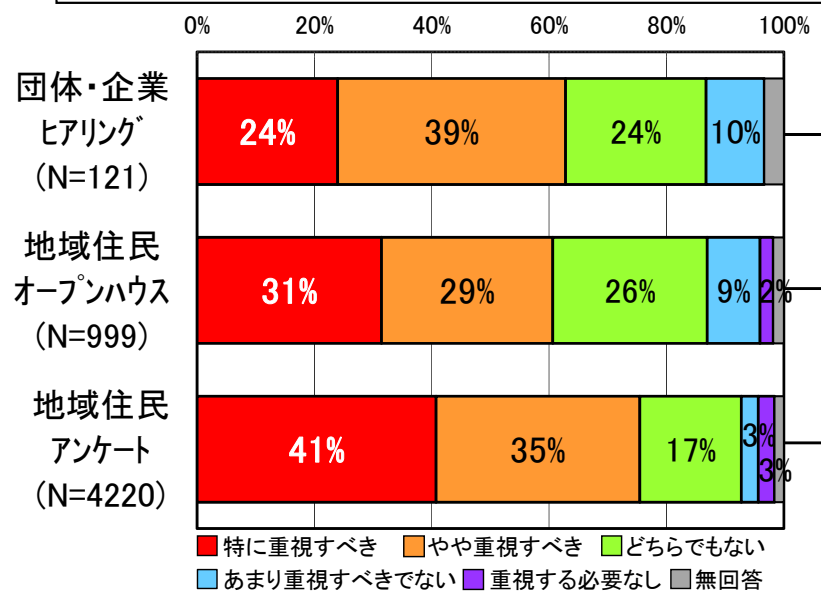
■ 幹線道路の整備にあたって、生活道路と繋ぎすぎないように配慮いただきたい。何のためか分からないような、常に渋滞した主要道路が熊本には多すぎる。(大津町)

【自治体意見】
 ・高速交通ネットワークの一部として、速達性・安全性の高い道路が必要であるため、沿道からの利用が出来ない構造が望ましい。
 (熊本県)

意見聴取の結果 (1) ルート帯案に関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【⑫段階的に開通が図られ、早期に整備効果が望めること】

- いずれの意見聴取方法においても、6～7割程度が重視すべきとやや低い傾向にあり、特に団体・企業、地域住民(オープンハウス)において低い。
- 自由意見では、早期整備を求める声大きいですが、これは整備の遅れによる不満からくるものが大半で、現道活用による段階的な開通よりも別線整備による早期開通を望む声が多い。
- 自治体意見においても、全線開通には一定の期間を要しても自動車専用道路が必要との意見がある。



■ ⑪「沿線利用」や⑫「早期の整備効果発現」は重視すべきだが、案③の現道改良案が良いという訳ではなく、案①の場合でもアクセス性の配慮や早期の段階的な開通が望ましいという考えである。(熊本市)

■ 案③現道改良案は段階的な供用が可能といっても、工事中には現道の規制が必要であり、工事期間中は現在でも渋滞する国道57号の走行性は更に低下するはずである。工事中の交通への影響といった面からも、別線整備が良いのではないだろうか。(菊池市)

■ バイパスのような道路は全体が出来上がって初めて道路整備の効果が発揮されるので、段階的な整備による効果にはあまり期待していない。(合志市)

■ 高規格道路として早期開通を望む。(熊本市)

■ 費用や時間がかかっても、渋滞等が起きないようにルートを選んだ方がいいと思う。(菊陽町)

■ 道路の整備は地方の活性化に欠かせない要素だと思う。農業道路等の着工、完工と比べこの計画の進捗状況は遅い。日本の経済状況、予算配分等を考えると重点課題として取り上げておかしくないのだが。(熊本市)

■ 着工後、段階的に開通することで周知効果、期待度の向上が望めるかと考えます。工業団地間の連携効果や地域連携を強く望んでいるので、北ルートで早期実現を強く期待しています。(大津町)

■ 段階的な開通が可能ならばその方がいいが、ルート全体の早期完成が望ましい。(合志市)

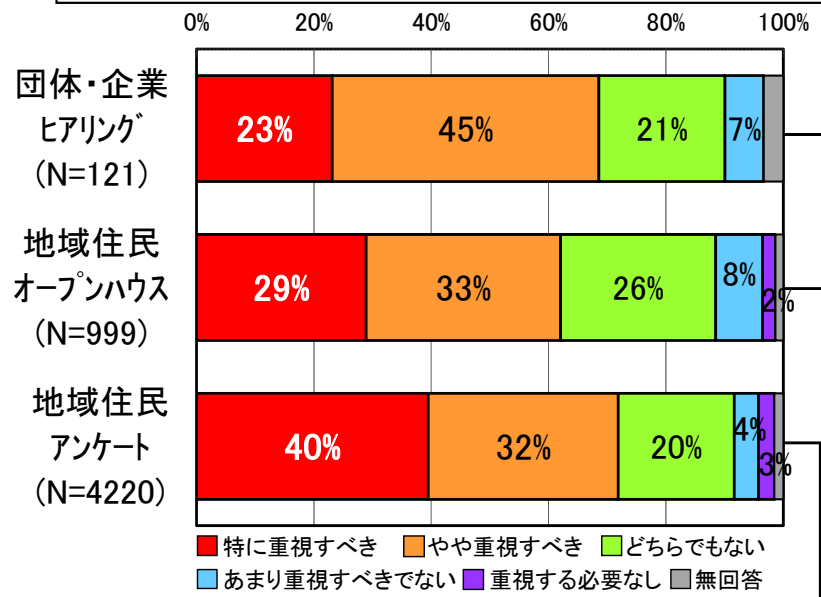
【自治体意見】
 ・全線の開通には一定の期間を要しても、速達性・安全性が高い自動車専用道路が必要である。そのうえで、IC間の開通を順次行っていただきたい。(熊本県)

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし ■ 無回答

意見聴取の結果 (1) ルート帯案に関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【⑬整備費用が安いこと】

- いずれの意見聴取方法においても、6～7割程度が重視すべきとやや低い傾向にあり、特に団体・企業、地域住民（オープンハウス）において低い。
- 自由意見では、コストを抑えることを望む声が多いが、整備によりもたらされる効果や安全性を考慮して欲しいとの声も多く、費用だけで現道改良案を求める声は、比較的少ない。
- 自治体意見においても、経済性に配慮しながらも自動車専用道路が必要との意見が多い。



- 人口の減少で渋滞は解消していくのでは、と考えており、財政面は悪化が懸念されるため、経済性を優先して現道改良案が最も良い。(熊本市)
- 整備費用は低く抑えてもらいたいが、効果面をより重視する(整備費用のみでのルート選択はない)。(菊池市)
- 費用の大きさよりも費用対効果の高さを考慮して道路を整備してもらいたい。(合志市)
- 整備費用については、安ければ良いという訳ではなく、整備内容とのバランスが大事である。(熊本市)
- 費用が高くて出来てよかった、といえる道路を作るべきだと思う。(大津町)

- 整備費用は安いに越したことはないが、渋滞緩和に役立つと思われるため北ルートを希望。(合志市)
- 費用は安いに越したことはないが、効果を合せて考える必要があり、案③よりも案①で良いと考える。(熊本市)
- 多少費用がかかっても、安全で経済や住民の方々にメリットがあった方が良く考えます。(菊陽町)

- この財政が厳しい時に必ずやる必要性は感じない。もし実施するなら、既存の道路を多く利用し、ミニマムの費用で考えること。(熊本市)
- 単に安さだけを求めるは無意味。それだったら何もしない方が良い。費用対効果が見込めるのであれば高くても良い。(熊本市)
- やるからには、多少の費用より、きちんと有用性のある実用的な道を作ることが大切。(大津町)

【自治体意見】
 ・速達性・安全性が高い自動車専用道路が必要であると考えている。なお、コスト削減を図るなど、経済的な構造になるようご検討いただきたい。(熊本県)

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし ■ 無回答

意見聴取の結果 (1)ルート帯案に関すること

■自治体への意見聴取結果

<熊本県知事>

- ・中九州横断道路は、熊本市と大分市を結び、九州縦貫自動車道と東九州自動車道を繋ぐ、九州の循環型高速交通ネットワーク及び地域軸を形成する上で重要な役割を担う主要幹線道路である。ルート帯については、工業等の各種産業が集積する地域を効果的に結び、また、熊本西環状道路と連絡し、熊本都市圏の交通混雑緩和、交通分散が期待出来る「案①」北ルートが望ましい。
- ・熊本市～大分市間は県庁所在地であるにも関わらず、主要幹線道路は国道57号のみであり、高速交通ネットワークが未整備であるため、速達性、安全性の高い道路が必要である。
- ・現状では、製造品・農畜産品等の生産拠点からの輸送に時間がかかり、企業進出や取引価格等に影響があるため、生産拠点と高速ICは近い方がよい。
- ・今回の沿線地域は、熊本市内の三次救急医療施設に依存していることから、速達性の確保が課題である。
- ・「熊本駅」から熊本を代表する観光地「阿蘇」へのアクセスが悪いことが課題であり、阿蘇方面への速達性、定時性が確保されれば、観光客の取り込みや滞在時間の延長等による観光振興が期待される。
- ・熊本の空の玄関口である「阿蘇熊本空港」と熊本を代表する観光地「阿蘇」を結ぶ主要幹線道路である国道57号は、慢性的に混雑しているが、現在取組まれている4車線化工事により、段階的に改善が図られている。
- ・阿蘇・大津方面から熊本市への主要幹線道路である国道57号が慢性的に混雑していることから、通勤者や物流関係の負担が大きいため、渋滞解消を図る必要性は高い。
- ・国道57号は慢性的な混雑により周辺の生活道路への車両流入があり、騒音や振動などによる生活環境や歩行者の安全性が損なわれているため、これらを解消する必要性は高い。
- ・示されたルート帯の中には鳥獣保護区域内を通るものがある。自然環境への影響が少ないことが望ましい。
- ・熊本県広域道路網マスタープランに位置付けられていることや、熊本都市圏総合交通計画協議会においても熊本都市圏の骨格を形成する道路に位置付けられていることから、自動車専用道路として早期に整備されることを望む。
- ・家屋移転は不測の時間を要すること、また、地域の分断を生じる恐れがあることから、極力、家屋移転が少ないことが望ましい。
- ・高速交通ネットワークの一部として、速達性・安全性の高い道路が必要であるため、沿道からの利用が出来ない構造が望ましい。
- ・全線の開通には一定の期間を要しても、速達性・安全性が高い自動車専用道路が必要である。そのうえで、IC間の開通を順次行っていただければ早期の整備効果が望めると考えている。
- ・速達性・安全性が高い自動車専用道路が必要であると考えている。なお、コスト縮減を図るなど、経済的な構造になるようご検討いただきたい。

<熊本市長>

- ・本市では、地域高規格道路熊本環状道路を構成する熊本西環状線の整備を行っている。熊本西環状線の部分供用を見据える中、この熊本西環状線の整備効果を高める観点から、熊本環状道路と九州縦貫自動車道を結ぶ熊本環状連絡道路の整備が喫緊の課題であると認識している。このため、本市では、熊本環状連絡道路の都市計画決定に向けた環境調査や道路予備設計などの準備を進めているところである。この熊本環状連絡道路については、熊本環状道路と九州縦貫自動車道を連絡し、中九州横断道路と連結することを目的と考えており、熊本西環状線の整備効果を高めるためにも、国土交通省におかれては、中九州横断道路のルート帯案として「案①」北ルートをお願いしたい。

意見聴取の結果 (1)ルート帯案に関すること

■自治体への意見聴取結果

<合志市長>

- ・合志市の南部の一部と菊陽町には、人口や商業施設が急増している光の森団地があり、通勤や集客により通過車両が増加し、周辺の道路の混雑が激しくなっている。特に合志市から県道49号熊本大津線・316号住吉熊本線を通る車両の混雑は激しいため、県道沿線にインターチェンジができると通過車両が迂回し、渋滞の緩和に効果があると期待する。
- ・北ルート案は、熊本西環状道路と接続予定であり、新たなネットワークの構築ができ、熊本都市圏の渋滞緩和の効果が大きいと考えられる。合志市としては、市内を通る「案①」が、利便性や速達性があり望ましいと考えます。道路として、経済効果や地場産業の活性化が見込めるのは、産業拠点を通る「案①」であり、更なる費用対効果を上げるためにも、早期に「案①」での事業実施をお願いしたい。

<菊池市長>

- ・菊池・山鹿地域の貴重な観光資源が阿蘇と繋がる点は、極めて意義が大きい。
- ・熊本市東部のベットタウン化進展に伴い、インフラや人口が特定地域帯に集中しすぎている為、慢性的な道路渋滞を引き起こしている。この為、国道57号線に近接しすぎたラインでは、更なる集中を助長し、根本的解決に繋がらない恐れがある。
- ・菊池周辺地域は、全国規模の畜産業が集積し、大規模のテクノパーク(工業団地)も開所したばかりであることから、本道路計画との戦略的リンケージによる地域経済活性化の起爆剤として投資効果の最大化を図るためにも、案①「北ルート」が最適ルートと考える。

<菊陽町長>

- ・「案①」北ルート案は、物流面で九州縦貫自動車道へのアクセス道路として有効。また、熊本西環状道路も計画されており、熊本都市圏のネットワーク形成につながる。
- ・「案②」南ルート案は、空港と高規格道路が結節することにより、企業(製造業・卸小売業・観光産業・情報通信業他)の活動が劇的に活性化する。
- ・「案③」国道57号改良案は、沿線に店舗等の張り付きが著しく、工事期間中及び工事完成後の騒音振動等による生活環境の悪化などデメリットが大きい。

<大津町長>

- ・大津町は、工業や農業が盛んな地域であり、多くの工業製品や農畜産物は、九州縦貫道を利用し福岡方面や関西などに輸送されているため、九州縦貫道との連続性が急務である。阿蘇地域や菊池市にも多くの温泉旅館などがあり、県外からのゴルフ場利用客が多いことから、早期の整備を期待する。
- ・3ルート案については、町の中央部と中心北部に企業や商業施設が立地しており、利便性や現状及び将来を鑑みると案①の北ルートが最適と考える。

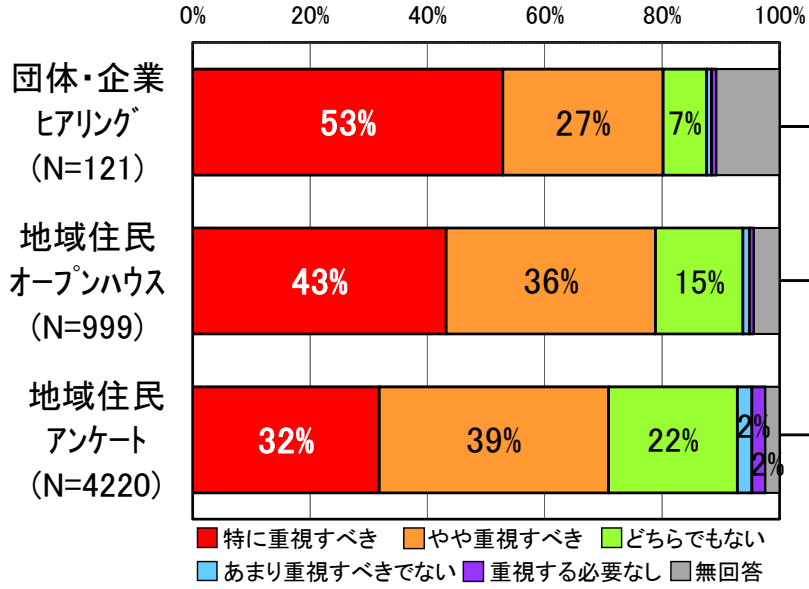
第2回意見聴取の結果

(2) インターチェンジなどに関すること

意見聴取の結果 (2) インターチェンジなどに関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【①工業団地等との連絡による産業の活性化】

- いずれの意見聴取方法においても、7割以上が重視すべきという傾向にあり、団体・企業において特に重視している。
- 自由意見では、団体・企業は物流効率化による収益増大だけではなく、現道の沿道環境向上効果も期待している。
- 地域住民からは、工業団地等へのアクセス強化により企業誘致を図り、雇用促進・地域活性化に繋がることに期待する声がある。その一方で、大型車の増加に伴う渋滞発生や安全性に対する懸念を抱く声もある。
- 自治体意見においても、工業団地など物流拠点への速達性・利便性向上による地域産業活性化に期待している。



- 物流に対して運行効率が良くなることが重要であり運行収益の増大が見込める。沿道近隣住民に対して排気ガス等の環境的配慮にも繋がる。(熊本市)
- 国道(387号、325号)にICが設置されれば、方面別(福岡、阿蘇・大分)に使い分けることが可能となり、ビジネス・観光面での効果が期待できる。(菊池市)
- 工場に近く、荷物が早く運べるためのICの位置を検討して欲しい。(大津町)
- 工業団地の利便性、大分方面への連絡を重視する。(合志市)

- 熊本は道路整備が遅れているので、産業(企業)立地面からも工業団地等へのアクセス向上に特に力を入れてほしい。(合志市)
- 物流と観光地へのアクセス利便性を重視すべきと思われる。(菊陽町)
- 大工場や工業団地等の拠点からのアクセスが最も近い場所へインターを設置すべきと思います。(大津町)
- 川辺工業団地等が近くなるように計画してほしい。(菊池市)

- 熊本の産業の発展のためにも特に工業団地とのアクセスを早くつくってほしい。便利がよければ工場の誘致もでき、人口も増え活性化できると思います。(熊本市)
- 企業進出による雇用促進等には道路整備は是非必要。(合志市)
- 工業・産業中心であれば、大型車両優先道路となり、一般車両は恐くて走れなくなる。(菊陽町)
- 地方都市の持続的発展のためには、産業面での環境整備が効果的。(大津町)
- あまり便利になると渋滞につながる可能性がある。(熊本市)

【自治体意見】

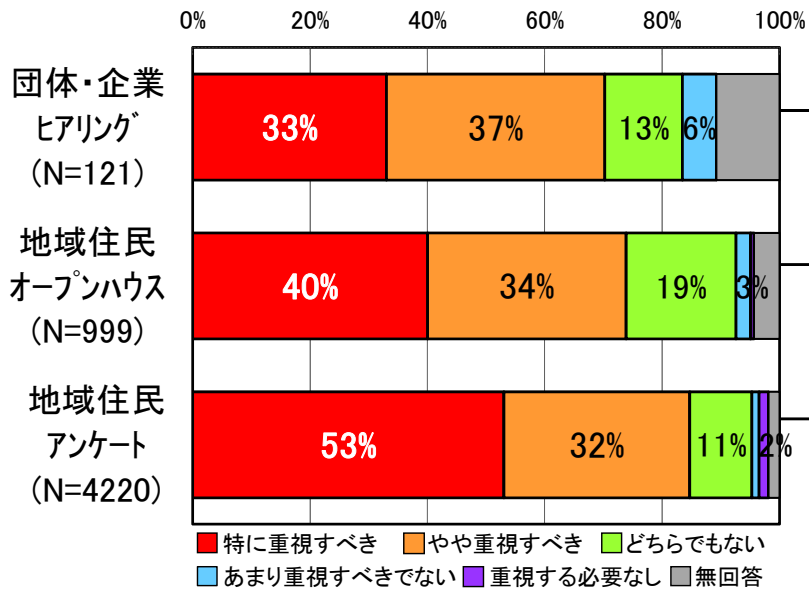
- ・物流拠点とICは近い方が良い。(熊本県)
- ・速達性や利便性を向上させ、産業の活性化に繋げるため、ICは既存の交通網との連結が不可欠。(合志市)
- ・菊池周域は畜産業が集積、テクノパークが開所したばかりであり、本件道路計画との戦略的リンケージにより、地域経済活性化の大きな起爆剤となる。(菊池市)

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし ■ 無回答

意見聴取の結果 (2) インターチェンジなどに関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【②救急医療機関等との連絡による緊急医療体制の支援】

- いずれの意見聴取方法においても、7割以上が重視すべきという傾向にあり、特に地域住民(アンケート)において高い。
- 自由意見では、搬送時間が患者の生命を左右すること、高齢化社会の進展により救急医療の重要性が増していることを踏まえて、医療機関へのアクセス強化を望む声が多い、
- また、災害発生時の対応も考慮して、医療機関へのアクセスを重要視している。
- 一方で、ドクターヘリの配備等により、道路整備における医療面の配慮の重要性を低く考える声もある。



- 救急医療機関へのアクセスを重視すべきと考える。(熊本市)
- 救急搬送や病院間の搬送が円滑になるような位置にICを設置してほしい。(菊陽町)
- 医療体制については、ドクターヘリもあるため、重要性はやや低い。(合志市)

- 生命に関わる事にはスピーディーさが求められる。(熊本市)
- 災害発生時の命を守り命を救う道路としての機能を果たす事になる。(菊陽町)
- ドクターヘリの整備が進んでいるため、医療に関わる道路の役割は低いと思う。(菊池市)

- 高齢化が進み、緊急時(医療・災害)に対応できる様にアクセスを考える必要があるのではないか。(熊本市)
- 1分1秒が患者の生命を左右するので、まずは、医療に重視すべきだと思う。救急車や外来患者が安心して利用でき、尚かつ一般利用も円滑に利用できるようなしてもらいたい。(合志市)
- 救急医療環境の充実が高齢化社会には必要で重視すべきと思います。(大津町)
- 高齢化社会に伴い、救急医療は今後ますます緊急性を増してくるものと思われ、スムーズな交通網の整備が医療体制の支援には欠くことのできない要素となる。(菊陽町)
- 緊急医療で高速道路を使わなければならない状況が問題で、医療はなるべく近場ですぐ受けられることが大事だと思う。道路事業とは切り離すべきである。(熊本市)

【自治体意見】

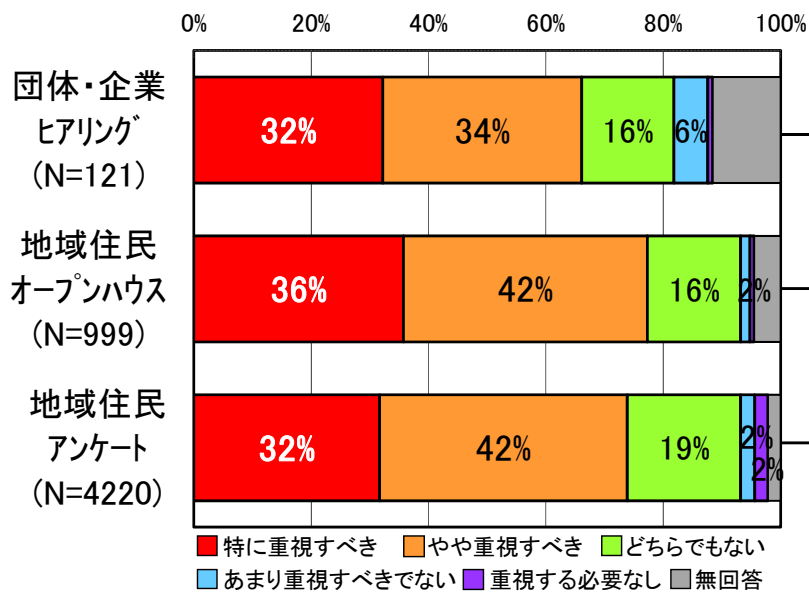
- ・ 当該地域及び阿蘇地域は、熊本市内の三次救急医療施設に依存していることから、速達性の確保が課題。医療施設への搬送時間を短縮するために、インターチェンジへのアクセス性を高くする必要がある。(熊本県)
- ・ 熊本市は「くまもと医療都市グランドデザイン」を策定し医療拠点都市を目指している。(熊本市)

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし ■ 無回答

意見聴取の結果 (2) インターチェンジなどに関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【③ 主要な観光施設との連絡による観光振興】

- いずれの意見聴取方法においても、7割程度が重視すべきとやや低い傾向にあり、特に企業・団体で低い。
- 自由意見では、新幹線駅である熊本駅や、観光地である熊本城、菊池温泉、阿蘇へのアクセス向上により、観光客の増加、地域活性化を望む声が多い。
- 一方で、ICから観光地が近すぎるよりも、観光地までの景観等を楽しんでもらうことを重要視する声もある。



■ IC位置は、菊池温泉が阿蘇観光と観光面で連携を図りやすい位置として欲しい。(菊池市)

■ 大津町の重要な産業である工業の流通、観光アクセスを重視して欲しい。(大津町)

■ 熊本は産業があまり多くないので、観光資源を有効に使って集客してほしい。(合志市)

■ 九州新幹線が開通したものの熊本駅からのアクセスに乏しく、観光客増につながっていない。(熊本市)

■ 人の流れが活発になり、観光が盛んになればと思います。(菊池市)

■ 県の活性化を考えるならば、観光等を考慮した方がいいと思います。(菊陽町)

■ 観光施設等へのアクセスは、そこに行くまでも旅行の一部であるため、あまり重要視する必要はないと思う。(熊本市)

■ 県外からの流入を増やすためには、ICとのスムーズなアクセス計画は重要。(菊陽町)

■ 熊本県の主な観光地である熊本城と阿蘇地域が離れており、観光の活性化のために必要。(大津町)

■ 医療面、観光面をより重視すべきと思う。(合志市)

■ 観光地へは、ICから近すぎていきなり観光地では味がない。(菊池市)

■ 観光客よりも地域を優先して考え、その後観光面への利便を検討すべきだと思う。(熊本市)

【自治体意見】

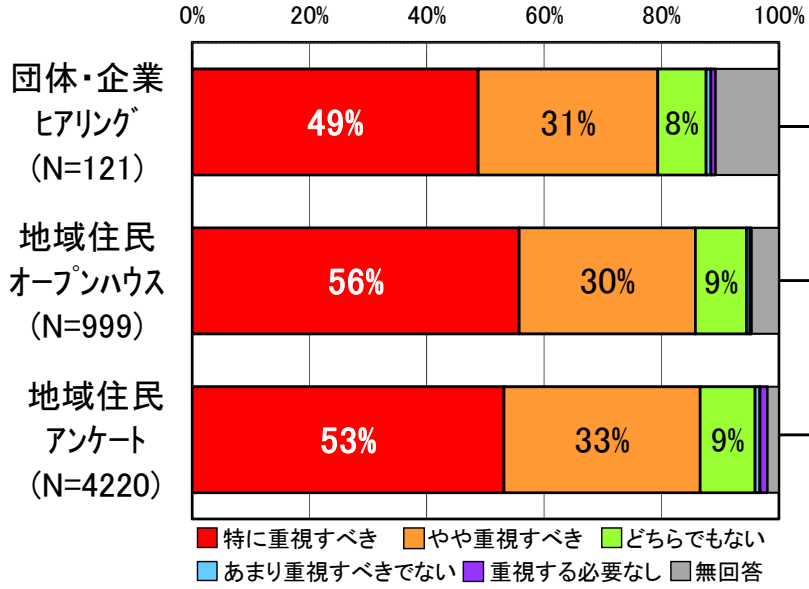
- ・熊本市は「国内外から選ばれるコンベンションシティ」の実現に向けて、国内外から選ばれる都市を目指して各種の会議やイベント等の誘致を推進している。(熊本市)
- ・熊本空港利用を意識したインターを設置することで、高規格道路がもたらす利便性は高まる。(菊陽町)

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし ■ 無回答

意見聴取の結果 (2) インターチェンジなどに関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【④ 渋滞緩和による生活環境の改善】

- いずれの意見聴取方法においても、8割以上が重視すべきという非常に高い傾向にある。
- 自由意見では、国道57号等の渋滞が現状の最大の課題と捉えられており、渋滞緩和により他の施設等へのアクセシ性向上に繋がるとの意見が多い。
- また、企業や地域外からの観光客よりも、地域住民の生活環境を重視すべきとの立場から、渋滞緩和を求める地域住民の意見がある。



■ ICの設置基準は渋滞緩和が最優先だと思う。(熊本市)
■ 通勤者の負担軽減につながる、渋滞緩和するような計画を望む。(菊池市)
■ 熊本の渋滞は首都圏など他の都市圏に比べたら少ないほうなので、重要事項ではないと考えられる。(合志市)

■ 作っても渋滞すると役に立たないので、一般道路の混雑緩和ができ、新しい道路もスムーズに流れるような設計をお願いしたい。(熊本市)
■ 渋滞緩和を一番改善してほしいです。(合志市)
■ 57号線の渋滞緩和による利便性の向上こそが後々、産業の活性化や医療支援につながって行くと思います。(菊池市)

■ 日常的な渋滞は、通勤の負担がとても大きく、時間のロス。少しでも渋滞緩和がなされ、生活しやすくなることを望む。(合志市)
■ 施設からのアクセス等を考えるよりは、スムーズな交通を優先すべきだと思います。(菊陽町)
■ 地域住民の生活環境改善が最優先。特に道路整備は地域存続のカギとなるので地域優先が一考。地域が衰退すれば工業も観光も衰退していく。(大津町)
■ 道路の渋滞がなくなれば良い。(菊池市)
■ 渋滞は少子化高齢化で車の移動、使用が少なくなるのであまり考慮しなくてもいいのでは。(熊本市)

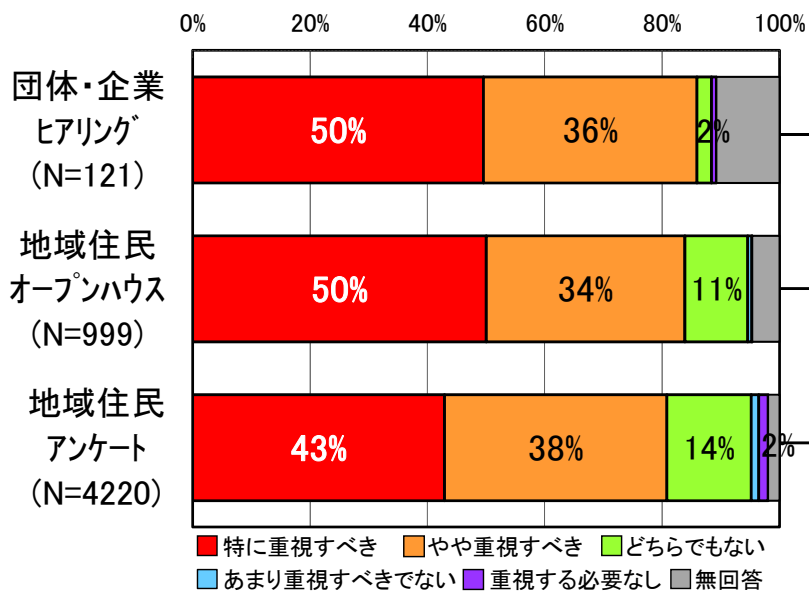
【自治体意見】
 ・インターチェンジの位置次第ではアクセス道路の混雑が生じ、生活環境の悪化が懸念される。設置に当たっては、地域の主要な道路へ接続することが望ましい。(熊本県)
 ・合志市から県道49号熊本大津線・316号住吉熊本線を通る車両の混雑は激しいため、県道沿線にインターチェンジができると通過車両が迂回し、渋滞の緩和に効果があると期待する。(合志市)

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし ■ 無回答

意見聴取の結果 (2) インターチェンジなどに関すること

■ 団体・企業、地域住民への意見聴取結果【⑤インターチェンジ等に安全かつ円滑にアクセスすること】

- いずれの意見聴取方法においても、8割以上が重視すべきという非常に高い傾向にある。
- 自由意見では、団体・企業は大型車両の円滑かつ安全な利用しやすさ、来訪者の利便性・分かりやすさを求めている。
- 地域住民は、IC周辺での新たな混雑発生や、事故の危険性など生活環境の悪化を危惧しており、スムーズかつ安全なアクセス確保を求める声が多い。



- IC入口での事故を少なくしてほしい、信号が無いIC交差点で危険を感じる事が有る。(大津町)
- トラックなど大型車両が利用しやすい広い道路にICが設置されると良いと思う。(阿蘇市)
- R325沿いにICができれば、施設利用客の利便性もあがりルート案内もしやすくなるが、混雑の少ない道路整備を望む。(菊池市)

- ICから降りると「道が狭い」や「渋滞する」といった事があると人は使いたくなくなるので、考慮してほしい。(合志市)
- インターチェンジのアクセスは、大型車両等でもスムーズにかつ安全に行えると良い。(大津町)
- 乗入れに迷うことなく、安全に利用できることが重要。(菊陽町)
- 安全でかつ分かりやすいアクセスができることが重要である。(看板など道路標示の整備)。(菊池市)

- やはり安全第一だと考えます。(菊池市)
- インターチェンジ等への安全かつスムーズな利用が出来ないと周辺にとっては迷惑施設となる。(菊陽町)
- インターチェンジは渋滞が少なく安全に通行できることが重要。(熊本市)
- 周辺で渋滞等が生じたり、交通量の増大による事故の増加により生活環境が激変することを畏怖する。(合志市)

【自治体意見】

- ・合併前の旧市町村中心部の位置にも配慮した上で、国道387号・国道325号や主要な県道との連結を重視して頂きたい。(合志市)
- ・インターチェンジは利便性が高いところに設けるべきで、企業が多く立地している大津町中心地北の国道325号には是非必要である。(大津町)

■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき ■ どちらでもない ■ あまり重視すべきでない ■ 重視する必要なし ■ 無回答

意見聴取の結果 (2) インターチェンジなどに関すること

■自治体への意見聴取結果

<熊本県知事>

- ・物流の速達性の確保のためには、工業団地や生産拠点などの物流拠点とインターチェンジは近い方が良い。
- ・当該地域及び阿蘇地域は、熊本市内の三次救急医療施設に依存していることから、速達性の確保が課題。医療施設への搬送時間を短縮するために、インターチェンジへのアクセス性を高くする必要がある。
- ・インターチェンジの位置次第ではアクセス道路の混雑が生じ、生活環境の悪化が懸念される。インターチェンジ設置に当たっては、地域の主要な道路へ接続することが望ましい。
- ・インターチェンジへのアクセスとなる道路は、地域の主要な道路が望ましい。
- ・インターチェンジへのアクセスについては、沿線市町と連携を図り、出来る限り協力していく考えである。

<熊本市長>

- ・中九州横断道路と熊本西環状線及び熊本環状連絡道路ができれば熊本港までのアクセス時間が短縮され、菊池南部地域の企業の熊本港利用ニーズが高まる。中九州横断道路の工業団地との連絡性が高くなれば、さらに高い効果を発現できる。
- ・熊本市は医療分野の面で「くまもと医療都市グランドデザイン」を策定し医療拠点都市を目指している。また、観光分野の面では「国内外から選ばれるコンベンションシティ」の実現に向けて、国内外から選ばれる都市を目指して各種の会議やイベント等の誘致を推進している。

<合志市長>

- ・合志市から県道49号熊本大津線・316号住吉熊本線を通過する車両の混雑は激しいため、県道沿線にインターチェンジができると通過車両が迂回し、渋滞の緩和に効果があると期待する。
- ・物流の速達性や利便性を向上させ、地場産業の活性化に繋げるためにも、インターチェンジは既存の交通網との連結が不可欠である。また、合併前の旧市町村中心部の位置にも配慮した上で、国道387号・国道325号や主要な県道との連結を重視して頂きたい。

<菊池市長>

- ・菊池周域は西日本トップクラス、全国でも7位の規模の畜産業が集積し、かつ大規模なテクノパークが開所したばかりであり、本件道路計画との戦略的リンクージュにより、地域経済活性化の大きな起爆剤となるもの。また菊池・山鹿地域の貴重な観光資源が阿蘇と繋がる点も、極めて意義大。

<菊陽町長>

- ・合志・菊陽・大津の適当なポイントに、熊本空港向けを意識したインターを設置することで、高規格道路がもたらす利便性は高まる。
- ・南ルートになった場合のインターチェンジについては、熊本空港へのアクセスにも有効な県道曲手原水線の接続地点、北ルートになった場合のインターチェンジについては、菊陽町で現在、熊本県に要望中の県道新山原水線(町道菊陽空港線)の延伸の接続地点に設置していただきたい。

<大津町長>

- ・インターチェンジは利便性が高いところに設けるべきで、企業が多く立地している大津町中心地北の国道325号には是非必要である。